



花き生産情報第6号

平成30年9月20日発表

青森県「攻めの農林水産業」推進本部

適正な温度管理と病害虫の防除により高品質な花きの生産に努めましょう。

秋ギク

1 生育状況

生育はおおむね順調である。

病害虫は、白さび病やヤガ類、アブラムシ類、アザミウマ類、ハダニ類が散見される。

表1 生育調査（9月10日現在）

場 所	年 次	品 種	定植月日 (月日)	草 丈 (cm)	葉 数 (枚)	備 考
八戸市	本 年	神馬2号	7月17日	71.4	38.7	無摘心
	前 年	神馬2号	7月18日	77.8	43.4	無摘心
	一昨年	神馬2号	7月19日	80.2	46.8	無摘心
五所川原市	本 年	神 馬	7月4日	97.4	53.0	2本仕立て
	前 年	神 馬	7月3日	96.4	50.4	2本仕立て
	平 年	神 馬	7月6日	91.4	47.6	2本仕立て

(注) 八戸市の平年値：平成28年から調査場所の変更によりなし

五所川原市の平年値：平成22～29年の平均値

2 今後の作業

(1) 温度管理

ハウス内の温度は、夜温が15℃以下にならないように管理する。

(2) 病害虫の防除

白さび病、灰色かび病の予防散布を定期的に行うほか、ヤガ類、アブラムシ類等の早期発見・早期防除に努める。

病害虫の被害を受けた株や生育の劣る株は、被害の拡大を防ぐために、速やかに抜き取る。

(3) 収穫

収穫適期は3分咲きを目安とするが、出荷先により異なるため、事前に確認する。

1 今後の作業

日当たりと排水の良いハウスに苗床を作る。親株を伏せ込む2週間前までに、1アール当たり完熟堆肥を250～300kg、窒素、りん酸、カリを成分で0.5～1.0kg、施用する。

健苗を確保するため、親株には病虫害の被害が無い健全なものを選び、10月下旬までに伏せ込みを行う。

次回（「花き生産情報第7号」）は平成30年10月20日発行の予定です。

◎日本一健康な土づくり強化月間（9月～11月）

安全・安心な農産物を安定して生産するためには、土づくりが重要です。堆肥の施用や土壌診断などにより、健康な土づくりに取り組みましょう。

◎秋の農作業安全運動展開中！（8月15日～10月31日）

- 1 慣れた作業でも油断せず、注意して行いましょう。
- 2 必ず、作業の合間に十分な休憩を取りましょう。
- 3 自分を過信しすぎず、無理のない作業を行いましょう。
- 4 一人での作業は避け、やむを得ず一人で作業を行う場合は、家族に作業場所を伝え、携帯電話を持ちましょう。
- 5 家族や周りの人など、地域全体で注意を呼び掛けましょう。

◎農薬は適正に使用しましょう。

- 1 農薬の飛散を防止する！
- 2 農薬は使い切り、河川等へ絶対捨てない！
- 3 農薬を使用する場合には、必ず最新の農薬登録内容を確認！

農薬情報(http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/)

農薬登録情報提供システム

【詳細検索】(<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp301.jsp>)

【作物名検索】(<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp101.jsp>)

◎農業保険（農業共済及び収入保険）への加入について～

1 農業共済

「農業共済」は、自然災害等により農作物・家畜・園芸施設に損害が生じた場合に共済金が支払われる制度です。

2 農業経営収入保険

平成31年から新たに始まる「農業経営収入保険」は、農業者が自ら生産した農産物の販売収入全体を対象とし、自然災害に加え、価格低下などにより収入が一定割合以上減少した場合に補填金が支払われる制度です。

加入には、青色申告が条件となっており、平成31年分の申請は、30年10月から11月となっています。

※詳しくは、地域の農業共済組合にお問い合わせください。

連絡先	農産園芸課野菜・畑作物振興グループ
県庁内線	5076
直通	017-734-9485
